

2019年4月11日

各位

株式会社 紀陽銀行

2019年度総合職新入行員研修において
カードゲーム「2030 SDGs」を実施しました！

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、行員のSDGsに関する理解促進を目的として、2019年4月10日（水）、2019年度総合職新入行員研修においてカードゲーム「2030 SDGs」を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、2019年3月25日に「紀陽銀行 SDGs宣言」を表明いたしました。SDGsの達成に貢献することは地域金融機関としての使命であると認識し、その第一歩として行内外へのSDGsの浸透に取り組んでおります。今回は、総合職新入行員が「2030 SDGs」を通じて楽しみながらSDGsの概念を体感し、SDGsへの理解を深めました。

紀陽銀行は、SDGs達成に向けた取り組みを今後更に加速させ、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指してまいります。

記

1. 実施概要

日 時	2019年4月10日（水）13:00～16:00
場 所	紀陽銀行 和歌山中央ビル
参 加 者	2019年度総合職新入行員
内 容	公認ファシリテーターによるカードゲーム「2030 SDGs」の実施

2. 研修の様子



以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」につながる取り組みです。



【ご参考】カードゲーム「2030 SDGs」とは

カードゲーム「2030 SDGs (ニイゼロサンゼロエスディーゼズ)」とは、SDGsの達成に向けた現在から2030年までの道のりを体験するもので、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」「SDGsによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するためのゲームです。各プレイヤーが与えられたお金と時間を使ってプロジェクトを実行していくことで、ゲーム上の世界に変化が起こり、2030年の世界が見えてきます。現実と同様、さまざまな価値観や異なる目標を持つ人がいる世界で、どのようにSDGsの壮大なビジョンを実現していくのか、ゲームプレイとゲーム後の振り返りを通じて理解を深めることができます。

